

令和5年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立郷原小学校
(郷原中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	—	—
令和5年度	+0.8	+0.5
令和4年度	-0.6	-5.2

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎・・・各学校 ◇・・・中学校区

科目	重点課題	改善の方策	検証
<p>国語</p> <p>本校 $\frac{68}{67.2}$ % 全国 $\frac{67.2}{69}$ % 県</p> <p>話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 情報の扱い方</p>	<p>◎ 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することに課題がある。(設問2一)【読むこと】(平均正答率81.1%) (本校-8.9%)</p> <p>◇ 漢字を文章の中で正しく使うことに課題がある。(設問1三)【言葉の特徴や使い方に関する事項】(平均正答率72.6%) (本校-12.6%)</p>	<p>◎ 普段から、中心となる語や文、重要な情報に印を付けながら読む習慣を身に付けるために、矢印で結んだり線を引いたりするなど言葉と言葉に関連付けて整理する活動を設定する。全校で文章読解スキルの問題に帯タイムで取り組み、答えの導き方について考えさせる時間を設定する。</p> <p>◇ 同音異義語の漢字の筆記に課題があるので、文章の意味を考えて漢字を当てはめるよう指導する。言葉集めなどの学習を丁寧に行ったり、他教科等において、文章化する活動を行ったりする中で、語彙を増やし適切に漢字を用いることができるよう指導する。</p>	<p>◎ 標準学力学習状況調査(12月)の【読むこと】の項目の正答率の全国平均との差を-5%以内にする。</p> <p>◇ 標準学力学習状況調査(12月)の【読むこと】の項目について、全学年の平均ポイントが昨年度より上回る。</p>
<p>算数</p> <p>本校 $\frac{63}{62.5}$ % 全国 $\frac{62.5}{64}$ % 県</p> <p>数と計算 図形 データの活用 変化と関係</p>	<p>◎ 台形の意味や性質について理解すること(設問2(1))【図形】(平均正答率59.8%) (本校-8.4%)及び、高さが等しい三角形の面積を比較する問題(設問2(4))【図形】(平均正答率20.8%) (本校-7.3%)など、図形の問題に課題がある。</p> <p>◇ 二次元の表から、条件に合う数を読み取ることに課題がある。(設問4(4))【データの活用】(平均正答率64.6%) (本校-10.5%)</p>	<p>◎ 図形の定義について丁寧に説明を行う。言葉の意味を正確に捉えることができるように、様々な言い方で説明し直す活動を日々行う。説明する時には数学的な用語を正確に使えるようにする。</p> <p>◇ 他教科でも身のまわりにあるデータを読み取ったり、図に整理したりする活動を設定する。複数のデータを比較し、その特徴や傾向を数学的な表現を用いて説明する練習を行う。</p>	<p>◎ 標準学力学習状況調査(12月)の【図形】の項目の正答率の全国平均との差を-5%以内にする。</p> <p>◇ 標準学力学習状況調査(12月)の【データの活用】の項目について、全学年の平均ポイントが昨年度より上回る。</p>

【来年度に向けて】